

Panasonic

操作マニュアル

ユーティリティソフト

(オーディオミキサー WR-D01/D40 用)

このマニュアルをよくお読みの上、正しくお使いください。
その後、保存し必要なときにお読みください。

はじめに

本ソフトウェアの概要

本ソフトウェアは、オーディオミキサー WR-D01 または WR-D40（以下、「ミキサー」と呼びます）の各種設定データをバックアップ/リストアするためのパソコン用ユーティリティソフトです。ミキサーから取り込んだパターンメモリーやライブラリの構成を組み換え、新しいパターンメモリーやライブラリを作成する編集機能も持っています。また、本ソフトウェアを使用して、ミキサー本体のソフトウェアを新しいバージョンに更新（アップデート）することもできます。

商標および登録商標

- ・ Microsoft、Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- ・ その他、本文中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

本ソフトウェアの使用許諾条件、著作権、不保証および免責について

本ソフトウェアの使用許諾条件、著作権、不保証および免責については、本ソフトウェアのインストール時に表示される「使用許諾契約」に記載されています。使用許諾契約の内容をよくお読みのうえ、同意いただける場合に限り本ソフトウェアをインストールし、お使いください。

なお、本マニュアルの使用許諾条件、著作権、記載内容に関する不保証および免責についても、上記「使用許諾契約」に準じます。あらかじめご了承ください。

もくじ

はじめに	2
本ソフトウェアの概要	2
商標および登録商標	2
本ソフトウェアの使用許諾条件、著作権、不保証および免責について	2
もくじ	3
本ソフトウェアが提供する機能	4
設定データのバックアップ/リストア	4
設定データの編集	4
ミキサーソフトウェアのバージョンアップ	5
準備	6
システムの構成	6
必要な機器	6
機器の接続	7
ユーティリティソフトのインストール	9
操作の基本	12
ユーティリティソフトを起動する	12
ユーティリティソフトを終了する	12
動作環境の設定	14
ミキサー側の設定	14
ユーティリティソフトの各種設定	16
接続先ミキサーの選択	16
ユニットチャンネルの設定	17
通信パラメーターの設定	17
設定データのバックアップ/リストア	18
ミキサーの設定データをパソコンへ取り込む（バックアップ）	18
バックアップした設定データをミキサー上で復元させる（リストア）	23
設定データの編集	26
ミキサーソフトウェアのバージョンアップ	33
ミキサーソフトウェアのバージョン確認	33
ミキサーのソフトウェアをバージョンアップする	34
通信エラーが発生したときは	40

本ソフトウェアが提供する機能

設定データのバックアップ/リストア

ミキサーの下記の設定データを、任意の組み合わせでパソコンに取り込むことができます（バックアップ機能）。

- ・パターンメモリー

各入出力やバスなどの設定をメモリーに記録したもの。WR-D01/D40では8個のパターンが記録されています。詳しくはミキサーの取扱説明書を参照してください。

- ・DYNライブラリ

ダイナミクス（コンプレッサー）の設定をメモリーに記録したもの。WR-D01/D40では8個のライブラリデータが記録されています。詳しくはミキサーの取扱説明書を参照してください。

- ・EQライブラリ

イコライザーの設定をメモリーに記録したもの。WR-D01/D40には4種類のイコライザー（モノラル入力用、ステレオ入力用、出力用（3バンド）、出力用（8バンド））が装備されており、それぞれ8個ずつ計32個のライブラリデータが記録されています。詳しくはミキサーの取扱説明書を参照してください。

- ・カレントデータ

現在運用中の入出力、バスなどのすべての設定。ただし上記のパターンメモリー、DYNライブラリ、EQライブラリを除きます。

また、上記バックアップ機能でパソコンに取り込んだ設定データをミキサーに送り、以前の設定を復元させることもできます（リストア機能）。

設定データの編集

バックアップ機能によりパソコンに取り込んだパターンメモリーやライブラリのデータを組み換え、新しい組み合わせのパターン/ライブラリを作成することができます。

補足

- ・本ソフトウェアでは、各パターン/ライブラリに記録されている各設定の設定内容を変更すること（出力レベルを変更したり、EQの周波数特性を変えたりすること）はできません。
- ・組み換え操作は同一種類のパターンまたはライブラリ間でのみ可能です。モノラル入力用のEQとステレオ入力用のEQなど、種類の異なるパターン/ライブラリデータを組み合わせることはできません。
- ・カレントデータは編集できません。

ミキサーソフトウェアのバージョンアップ

ミキサーのソフトウェアの新バージョンがリリースされた場合、本ソフトウェアを使用してバージョンアップを行うことができます。

また、現在ミキサーで動作しているソフトウェアのバージョンを確認することもできます。

補足

ミキサーの最新ソフトウェアのバージョン、入手方法についてはミキサーの販売店へお問い合わせください。

準備

システムの構成

必要な機器

本ソフトウェアを使用するためには、以下の機器やケーブルが必要です。

- ・ミキサー (WR-D01 または WR-D40)
- ・パソコン (OS:Windows 2000 (Professional)、Windows XP (Professional / Home Edition) または Windows 98)
- ・RS-422 インターフェースカード、または RS-232C - RS-422 変換アダプタ
(以下、両者を総称して「インターフェースカード」と呼びます。)
- ・RS-422 通信用ケーブル (クロスケーブル / マルチドロップケーブル)

重要

- ・Windows95, Windows ME などの OS では正常に動作しない場合があります。必ず上記の OS が搭載されたパソコンをお使いください。
- ・一部のインターフェースカードでは正常に通信が行われない場合があります。弊社にて動作確認済みの製品(ミキサーの販売店へお問い合わせください)をお使いください。
- ・RS-232C - RS-422 変換アダプタをご使用になる場合は、パソコンに 38.4kbps および 57.6kbps の通信速度を使用可能な RS-232C インターフェースが装備されていることが必要です。また、RS-232C ケーブルも必要です。
- ・本ソフトウェアはパソコンの COM ポート (COM1 ~ 8 のいずれか) を使用してミキサーと通信を行うため、COM1 ~ 8 いずれかのポートを使用して RS-422 規格の通信を制御するインターフェースが必要となります。従って COM ポート以外のポートを使用するインターフェースカードや、COM1 ~ 8 以外のポートが必要なインターフェースカードは、本ソフトウェアでは使用できません。
- ・本ソフトウェアは 38.4kbps または 57.6kbps (ミキサーソフトウェアのバージョンアップ時は 57.6kbps 固定) の通信速度でミキサーと通信を行います。この通信速度をサポートしていないインターフェースカードやパソコンでは、本ソフトウェアを使用することはできません。
- ・インターフェースカードは付属の説明書を参照の上、事前に必ずパソコンに装着してください。また、デバイスドライバが必要な場合は必ずホームページ等から最新のデバイスドライバを入手の上、パソコンにインストールしてください。
(次ページへつづく)

重要(つづき)

・必ずミキサーおよびインターフェースカードのピン配置、規格と適合した RS-422 ケーブルをご用意ください。ミキサー側の RS-422 端子は Dsub9 ピンメスですので、ケーブルは Dsub9 ピンオスのコネクタとなります。ミキサー側の RS-422 端子のピン配置は以下の通りです。

Pin No	信号名	I/O	Pin No	信号名	I/O
1	GND	---	6	GND	---
2	Tx-	OUT	7	Tx+	OUT
3	Rx+	IN	8	Rx-	IN
4	GND	---	9	GND	---
5	NC	---			

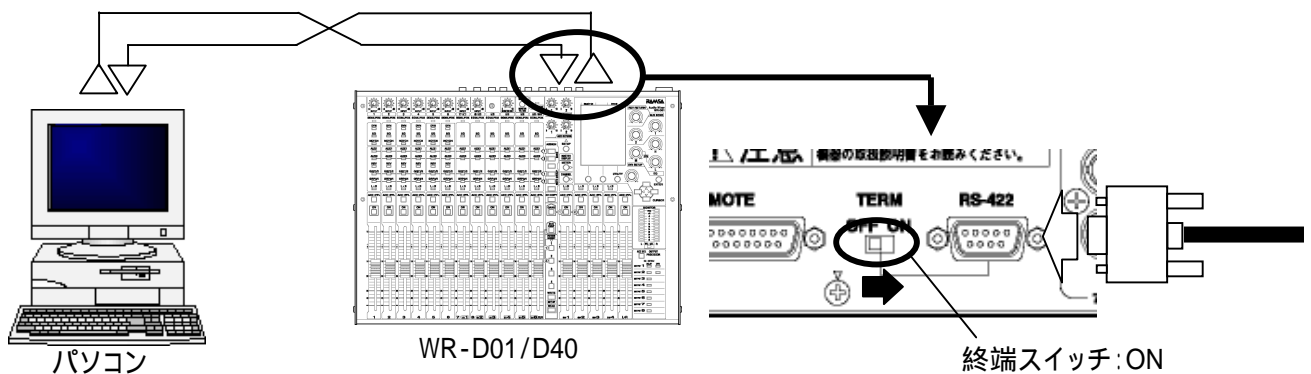
その他の規格についてはミキサーの取扱説明書を参照してください。

インターフェースカード側のピン配置、規格はカードにより異なります。必ずインターフェースカードの説明書でご確認のうえ、正しいピン配置、規格のケーブルをご用意ください。

機器の接続

1 対 1 接続の場合

クロスケーブルを接続し、ミキサーの終端スイッチを ON にします。

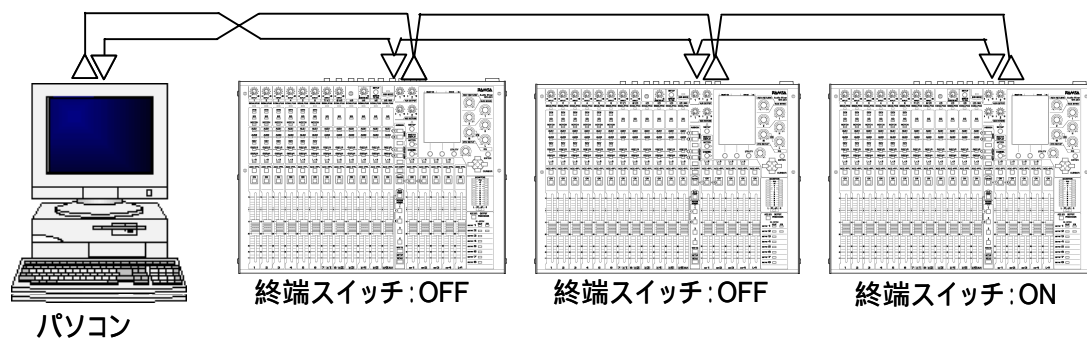


重要

ミキサーの電源が ON の状態で終端スイッチを切り換えると、通信が正常に行えなくなる場合があります。終端スイッチの切り換えは、必ず電源 OFF の状態で行ってください。

ミキサーを複数台接続する場合

複数のミキサーが設置されている場合や、2台のミキサー間でデータをコピーする場合など、マルチドロップケーブルを使用して下記のように複数台のミキサーを接続することができます。終端スイッチは、最後につながるミキサーだけ ON にします。



WR-D01 を 3 台接続する場合

補足

- ・ミキサーは最大7台まで接続可能です。8台以上のミキサーを接続した場合、正常に通信が行われない場合があります。
- ・本ソフトウェアは1対1の通信のみサポートしています。複数のミキサーを接続しても、2台以上のミキサーを同時に制御することはできません。

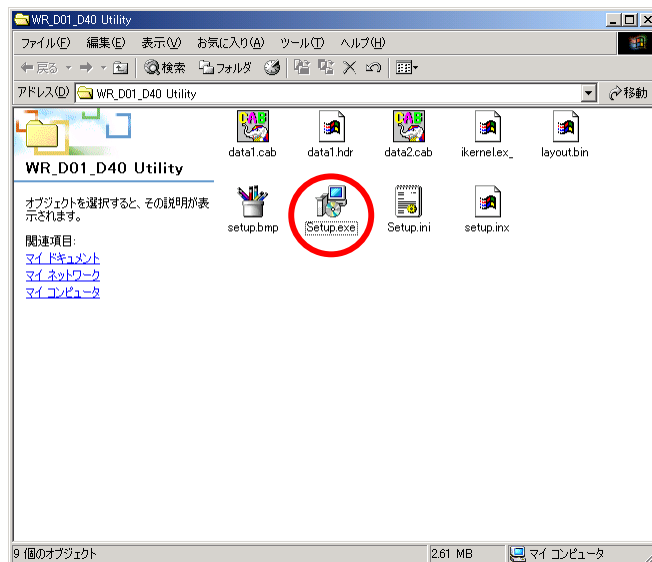
ユーティリティソフトのインストール

ユーティリティソフトのパソコンへのインストールは、以下の手順で行います。
インストール先のディスクに、最低 20 MB 程度の空きディスク領域が必要です。

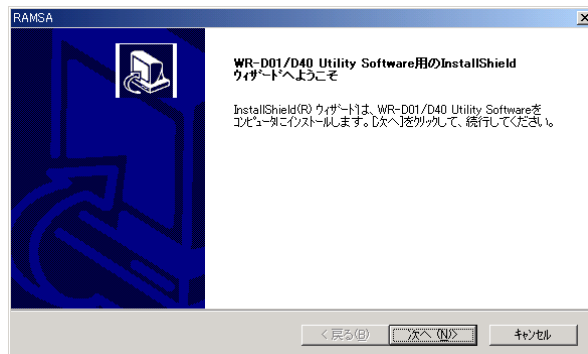
パソコンの電源を入れて OS を起動します。Windows2000 や Windows XP をお使いの場合は、administrator でログオンしてください。

自動的に起動するアプリケーションなどがある場合はすべて終了させてください。

弊社より入手したセットアッププログラムが入ったフォルダを開き、SETUP.EXE のアイコンをダブルクリックします。

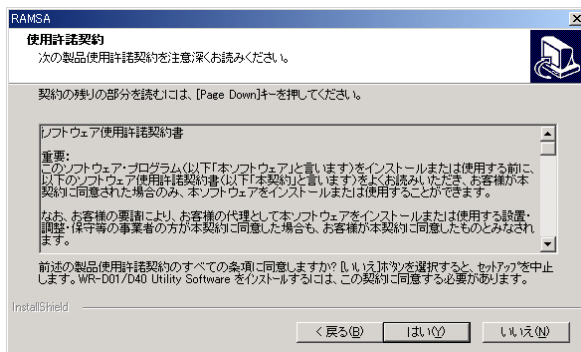


少し待つと、下図のセットアップのウィンドウが表示されます。



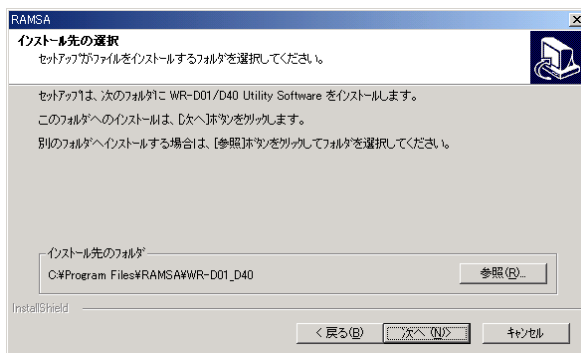
「次へ(N)>」をクリックしてください。

「使用許諾契約」のページが表示されます。



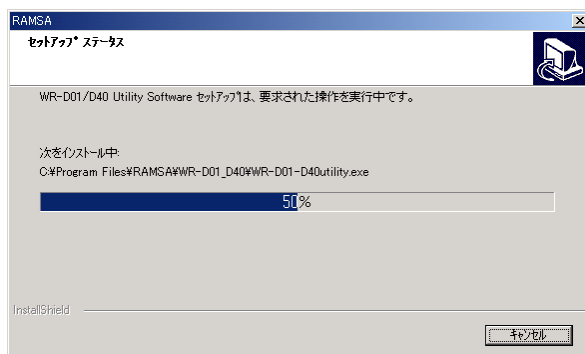
このページに書かれているすべての条項に同意いただける場合のみ、本ソフトウェアを使用することができます。契約書右側のスクロールバーを操作するか、[Page Down]キーを押すと画面がスクロールしますので、すべての条項をよく読み、確認してください。すべての条項に同意いただける場合は「はい」をクリックしてください。同意いただけない条項が1つでもある場合は、大変恐縮ですが本ソフトウェアをご使用になることができません。「いいえ」をクリックしてください。セットアップが終了します。

「インストール先の選択」のページが表示されます。



ディスク容量等の関係でインストール先のフォルダを指定したい場合は「参照」をクリックし、インストール先のフォルダを指定します。通常はそのまま「次へ(N)>」をクリックしてください。インストールが開始されます。

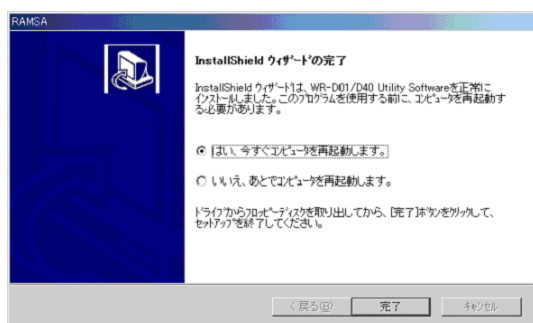
インストール実行中は、下図の「セットアップ ステータス」のページが表示されます。



そのまましばらくお待ちください。

インストールが完了すると、下図の(A),(B)いずれかの画面が表示されます。

(A)



(B)



(A)が表示された場合、「はい、今すぐコンピュータを再起動します。」が選択された状態で「完了」をクリックします。パソコンが再起動したらインストール完了です。

(B)が表示された場合、「完了」をクリックすると再起動せずにインストールが終了します。この場合も必ずスタートメニューからパソコンの再起動を行ってください。

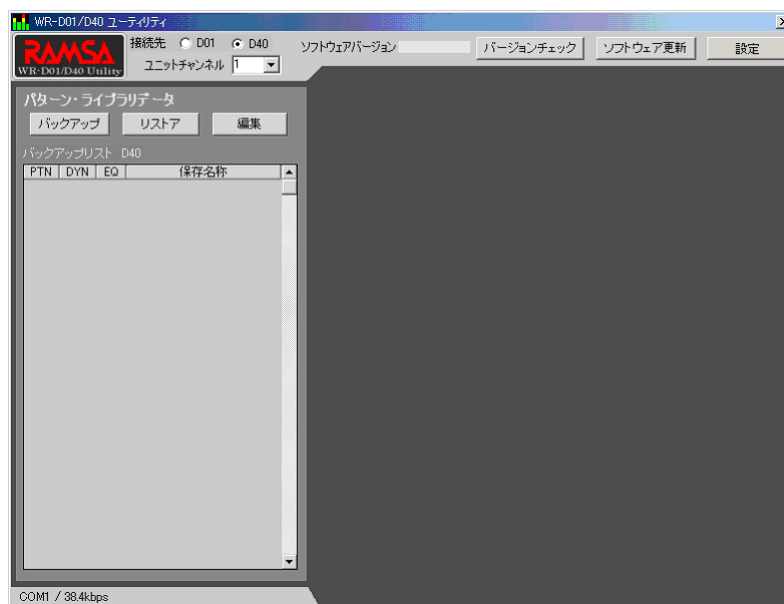
補足

本ソフトウェアが既にインストールされているパソコン上で **SETUP.EXE** を実行するとアンインストールが行われます。本ソフトウェアのバージョンアップの場合など、インストールをやり直したい場合には、この操作で一度アンインストールを行ってから再度上記の手順でインストール操作を行ってください。

操作の基本

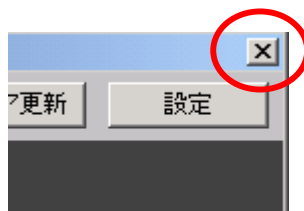
ユーティリティソフトを起動する

スタートメニューの「プログラム」の「RAMSA」の「WR-D01_D40 ユーティリティソフト」を選択すると、ユーティリティソフトが起動して下図のウィンドウが開きます。



ユーティリティソフトを終了する

ユーティリティソフトのウィンドウ右上にある「×」をクリックすると、ユーティリティソフトが終了します。



終了時、下記のデータ廃棄確認パネルが表示される場合があります。



データを廃棄してよいか確認し、良ければ「はい」をクリックします。保存が必要な場合は「いいえ」をクリックして終了操作をキャンセルし、保存を行った後で再度終了操作を行ってください。

動作環境の設定

ユーティリティソフトを使用するためには、ミキサーおよびユーティリティソフトで以下の設定が必要です。

ミキサー側の設定

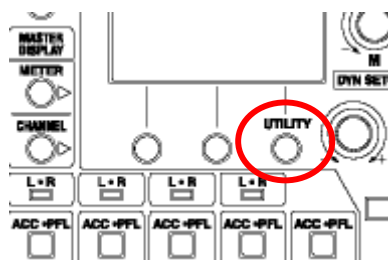
ミキサー側は、以下の手順で通信パラメータの設定を行ってください。

重要

以前の設定は保存されません。ユーティリティソフト使用后、元の設定に復旧させる必要がある場合は、設定を変更する前に必ず現在の設定を控えておいてください。

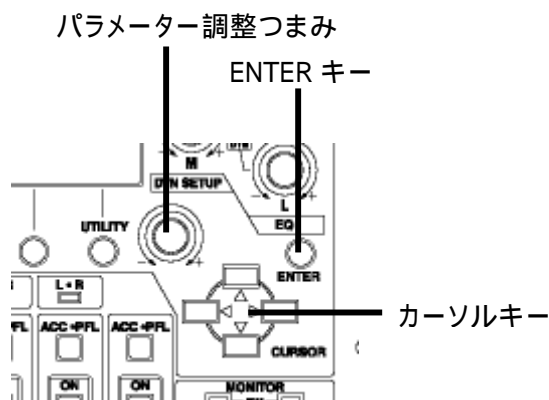
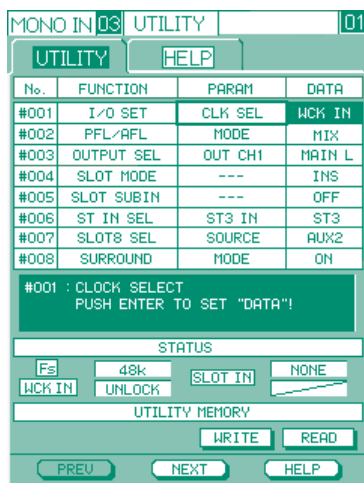
ミキサーの電源を ON にします。

ミキサーが立ち上がったら、UTILITY キーを 2 秒以上押します。



下図の UTILITY 画面が表示されます。

(表示内容は前回までのミキサーの状況により異なる場合があります。)



上下カーソルキーで No.009 CTRL CONF の項目を選択し、右カーソルキーで PARAM 欄にカーソルを移動します。

パラメーター調整つまみを回すと、PARAM 欄の表示が切り換わります。
RS422 を表示させてください。

DATA 欄の表示を確認します。OFF と表示されている場合は右カーソルキーで DATA 欄に移動させ、パラメーター調整つまみを回して ON を表示させます。表示が反転しますので、ENTER キーを押して確定させてください。

~ と同様の手順で No.010 RS422 SET の各 PARAM を下表の通り設定します。 と同様に DATA 欄の変更で表示が反転した場合は ENTER キーを押してください（反転しない場合は、ENTER キーは必要ありません）。

No.	FUNCTION	PARAM	DATA
010	RS422 SET	RATE	ユーティリティソフトの通信速度（後述）と合わせる（推奨：38.4k） 31.25k は使用できません。
		CH TX	CH RX およびユーティリティソフトのユニットチャンネル（後述）と合わせる。 複数台のミキサーを接続している場合は、ミキサー毎に相異なる値を設定。
		CH RX	CH TX およびユーティリティソフトのユニットチャンネル（後述）と合わせる。 複数台のミキサーを接続している場合は、ミキサー毎に相異なる値を設定。
		P CHG TX	OFF
		P CHG RX	OFF
		C CHG TX	OFF
		C CHG RX	OFF
		RPN EN	OFF
		NRPN EN	OFF
SYSEX EN	ON		

補足

- ・ユーティリティソフトでは、バックアップ等データを受信するだけの場合や、リストア等データを送信するだけの場合にも双方向の通信を行います(送信(受信)と同じチャンネルで受領応答処理を行います)。このため、CH TX(送信チャンネル)とCH RX(受信チャンネル)が常に一致していないと正常な通信が行われません。また、同じチャンネルのミキサーが複数あると上記の受領応答処理が複数台で同時に行われるため、正常な通信が行われません。
- ・CH RX を OMNI(すべてのチャンネルを受信)に設定すると通信が正常に行われません。必ず 1 ~ 16 の範囲で、CH TX と同じ値を設定してください。
- ・P CHG TX, P CHG RX, C CHG TX, C CHG RX, RPN EN, NRPN EN がすべて OFF になっていないと、ユーティリティソフトが予期したのとは異なる通信が発生し、動作に支障を来す恐れがあります。必ず OFF の状態に設定してください。

ユーティリティソフトの各種設定

ユーティリティソフト側は、以下の手順で接続先ミキサー、ユニットチャンネル、通信パラメーターの各種設定を行う必要があります。前述「ユーティリティソフトを起動する」の手順でユーティリティソフトを起動し、以下の操作を行ってください。

後述のバックアップ、編集などの画面が右側に表示された状態では、下記の設定操作は行えません。画面を閉じてから操作を行ってください。

接続先ミキサーの選択

ウィンドウ左上にある「接続先」で制御対象となるミキサーを選択します。制御するミキサーが WR-D01 の場合は「D01」を、WR-D40 の場合は「D40」を選択します。



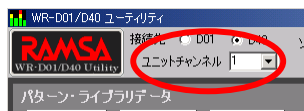
重要

WR-D01 と WR-D40 とではチャンネル数や内部系統が異なるため、**両機種間にデータの互換性はありません**。したがって、

- ・WR-D01 のバックアップデータを WR-D40 上にリストアする等の操作はできません。
- ・データの混在を防止するため、上記「接続先」で選択した機種の設定データのみが操作可能となります。接続先の選択を変更すると、データリストが新しく選択した機種のリストに変わります。
- ・「接続先」で選択したのとは異なる機種に対し、通信は行えません。通信エラーとなります。

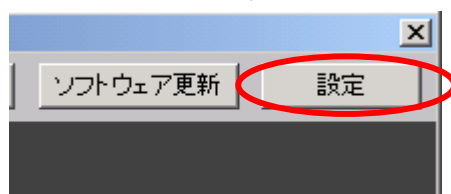
ユニットチャンネルの設定

ウィンドウ左上にある「ユニットチャンネル」で送受信のチャンネルを設定します。制御するミキサーの CH TX / CH RX 設定値（「ミキサー側の設定」を参照）に合わせて設定してください。



通信パラメーターの設定

ウィンドウ右上の「設定」をクリックします。



下図の通信設定画面が表示されます。



- ・通信ポート：ミキサーと接続した RS-422 の COM ポートを COM1～8 の中から選択します。
- ・通信速度：RS-422 の通信速度をミキサー側（「ミキサー側の設定」を参照）と同じになるように設定します。38.4k, 57.6k のいずれかを選択できます。

設定が完了したら「OK」をクリックします。

設定をキャンセルする場合は「キャンセル」をクリックしてください。

設定データのバックアップ / リストア

ミキサーの設定データをパソコンへ取り込む（バックアップ）

ミキサーの設定データをパソコンへ取り込む方法は以下の通りです。

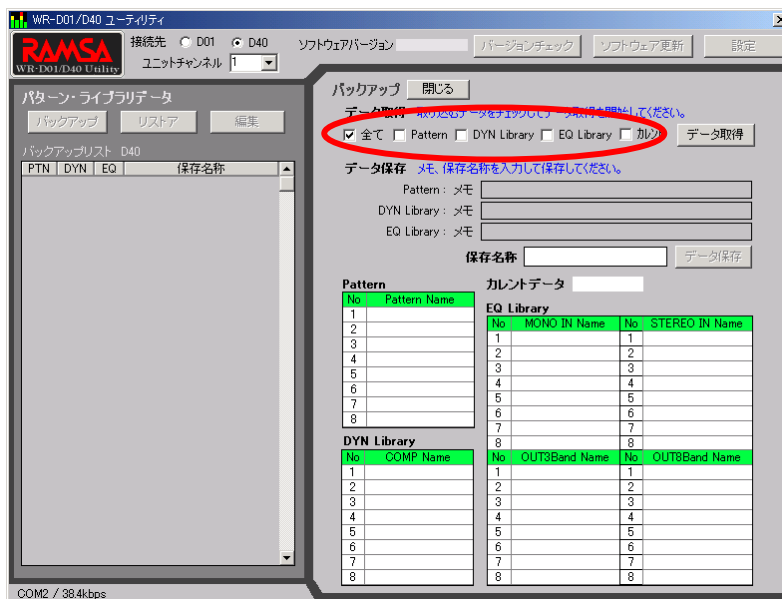
他の画面がウィンドウ右側に表示された状態では下記の操作は行えません。画面を閉じてから操作を行ってください。

ウィンドウ左上、「パターン・ライブラリデータ」の「バックアップ」をクリックします。



ウィンドウ右側にバックアップ画面が表示されます。

「データ取得」の項目で、ミキサーから取り込みたいデータの種別をチェックします。

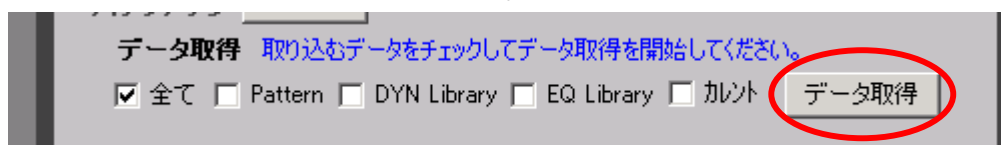


- ・ Pattern : パターンメモリのデータを取得します。
- ・ DYN Library : DYN ライブラリのデータを取得します。
- ・ EQ Library : EQ ライブラリのデータを取得します。
- ・ カレント : カレントデータを取得します。

すべてのデータを取得する場合は、「全て」をチェックしてください。

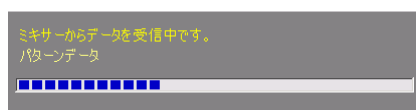
それぞれの設定データの内容については、「本ソフトウェアが提供する機能」を参照してください。

「データ取得」のボタンをクリックします。



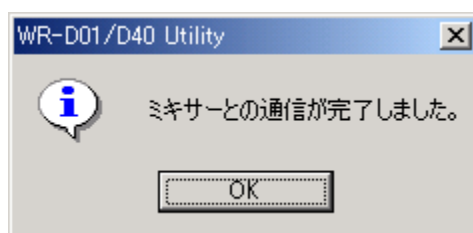
ミキサーからの設定データの受信が開始されます。

通信中は下図のプログレスバーが表示されます。



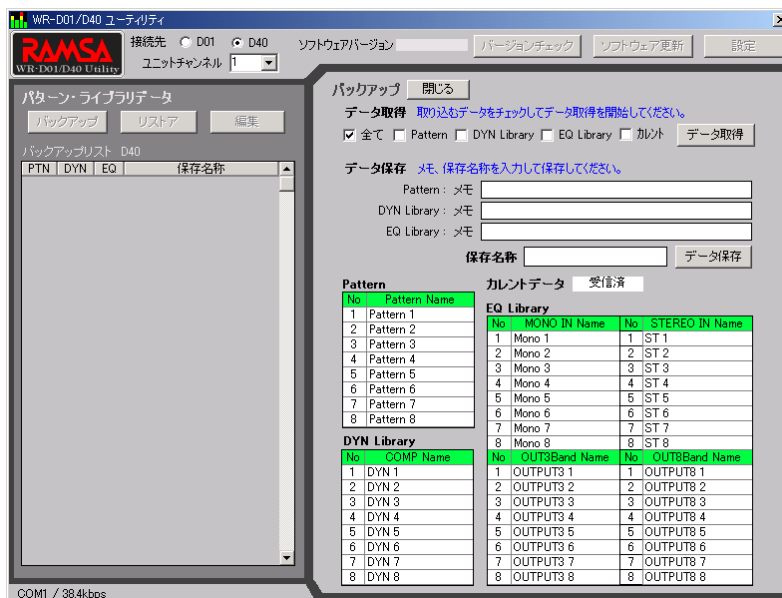
取得するデータによってはしばらく時間がかかります。通信が完了するまでお待ちください。

通信が完了すると下図の確認ダイアログが表示されます。



「OK」をクリックしてください。

受信した設定データの内容が表示されます。

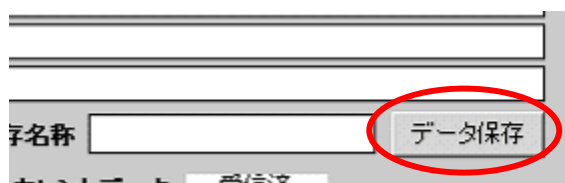


取り込んだパターンメモリ、DYN ライブラリ、EQ ライブラリにはメモを入力することができます。ここで入力したメモは、リストアや設定データの編集の際表示されます。必要に応じて入力してください。それぞれ 256 文字まで入力できます。また、設定データ全体の名称（保存名称）を入力します。保存名称は必ず入力する必要があります。30 文字まで入力できます。

補足

- ・メモはデータ取得時に指定したパターン/ライブラリだけに入力することができます。
- ・カレントデータにメモを設定することはできません。
- ・全角または半角のスペースをメモや保存名称に入力した場合、先頭と末尾のスペースは削除されます(途中のスペースは保持されます)。

メモ、保存名称の入力が終了したら、「データ保存」をクリックします。



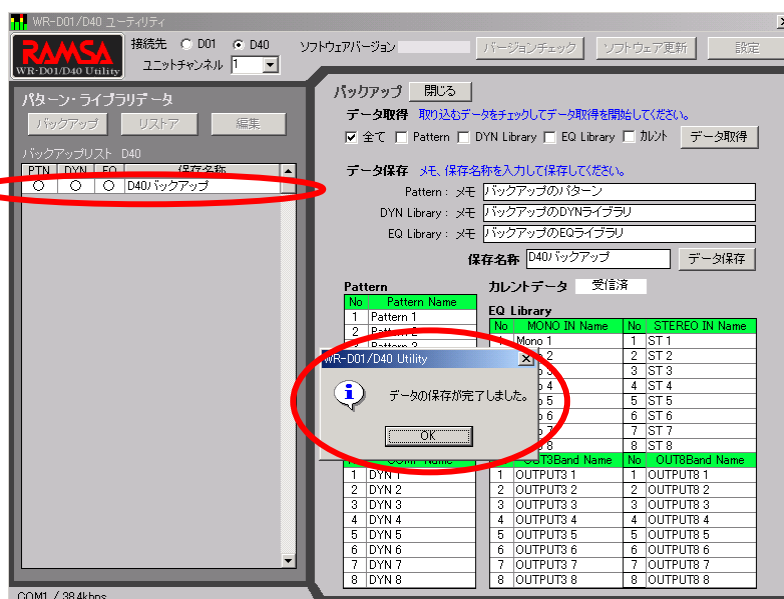
データの保存が開始されます。

データの保存中は、下図のプログレスバーが表示されます。



取得したデータによっては保存にしばらく時間がかかります。完了までお待ちください。

データの取得が完了すると、下図の確認ダイアログが表示されます。また、ウィンドウ左側の「バックアップリスト」に今回の内容が追加されます。



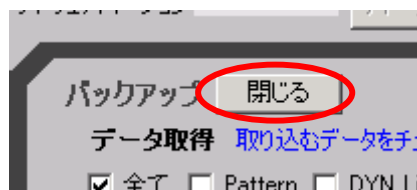
バックアップリストの各項目は以下の通りです。

- ・ PTN : パターンメモリーが取得されている場合、「」と表示されます。
- ・ DYN : DYN ライブラリが取得されている場合、「」と表示されます。
- ・ EQ : EQ ライブラリが取得されている場合、「」と表示されます。
- ・ 保存名称 : 上記 の手順で入力した保存名称が表示されます。

ダイアログの「OK」をクリックします。

引き続き設定データの取り込みを行う場合は ~ の操作を繰り返します。

作業を終了する場合はウィンドウ右側の一番上にある「閉じる」をクリックします。



補足

・保存した設定データは、インストール時に「インストール先の選択」のページで指定したフォルダ（特に指定しなかった場合は C:\Program Files\RAMSA\WR-D01_D40）の中の USR\D01 フォルダ(WR-D01 の場合)または USR\D40 フォルダ(WR-D40 の場合)の中に、フォルダ単位で書き込まれます。保存名称で指定した名前でフォルダが作成され、その中に各種データが複数のファイルで作成されます。サイズは全て取り込んだ場合で 300kB 強です。

CD-R 等の外部メディアにコピーして保管等を行う場合、以下の点にご注意ください。

- (1) 必ず保存名称のフォルダ単位でコピーを行ってください。ファイル単位で追加、削除、入れ換え等を行った場合、リストアや編集が正常に行なえなくなる場合があります。
- (2) WR-D01 と WR-D40 ではデータに互換性がないため、両者の設定データが混在すると本ソフトウェアやミキサーが正しく動作しなくなる場合があります。混在しないよう注意して管理してください。

・バックアップリストにリスト表示されている設定データは、リストを選択して Delete キーを押すと削除することができます。途中確認のダイアログが表示されますので、本当に削除して良ければ「はい」をクリックしてください。

また、リスト上でダブルクリックすると保存名称を変更することができます。名称入力のダイアログが表示されますので、新しい名称を入力して「OK」をクリックしてください。

なおこれらの操作は、ウィンドウ右側に画面が表示されていないときだけ行うことができます。

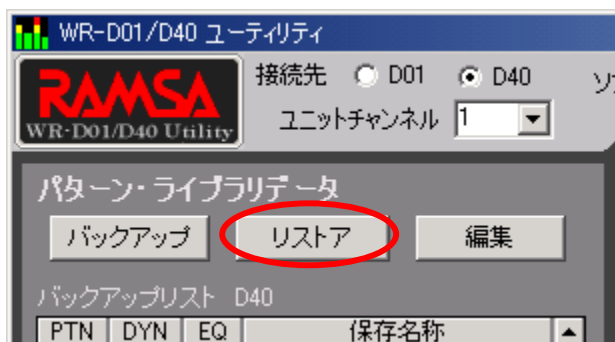
・ミキサーでパターン、ライブラリの名称に「ヲ」(小さい「ヲ」)を使用することができますが、この文字はバックアップ時に大きい「ヲ」に変換されます。この文字を含む設定データをミキサーへリストア(ミキサーへ送信)した場合も大きい「ヲ」と表示されます。

バックアップした設定データをミキサー上で復元させる（リストア）

パソコンに取り込んだ設定データをミキサー上で復元させる方法は以下の通りです。

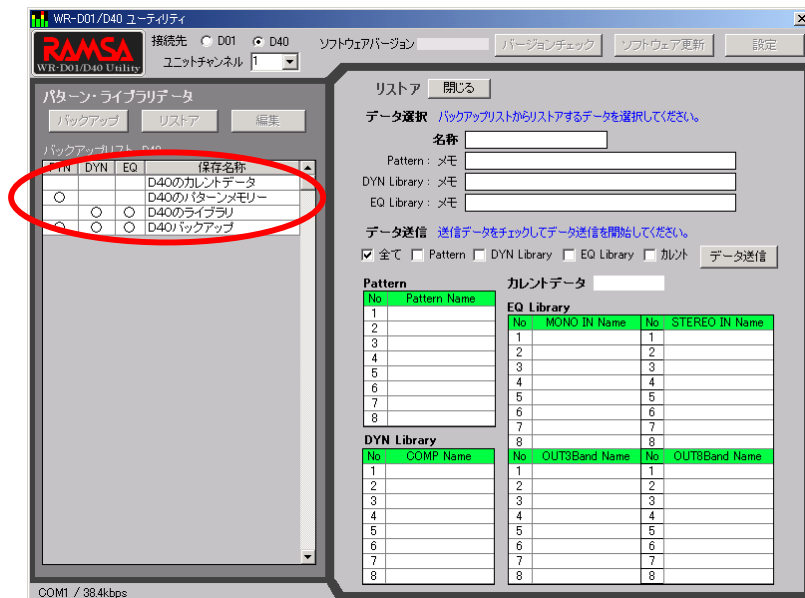
他の画面がウィンドウ右側に表示された状態では下記の操作は行えません。画面を閉じてから操作を行ってください。

ウィンドウ左上、「パターン・ライブラリデータ」の「リストア」をクリックします。



ウィンドウ右側にリストア画面が表示されます。

左のバックアップリストから復元させたい設定データを選択し、クリックします。

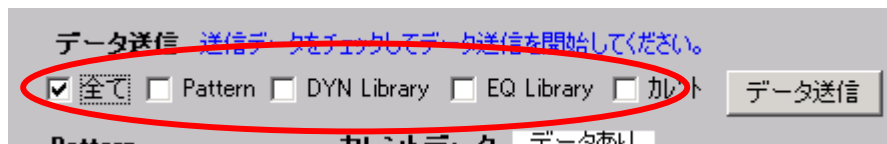


選択した設定データの内容がウィンドウ右側に表示されます。



内容を確認します。他の設定データに変更する場合は、バックアップリストでその設定データをクリックし直してください。

バックアップされた設定データの中で、リストアしたいデータの種別をチェックします。



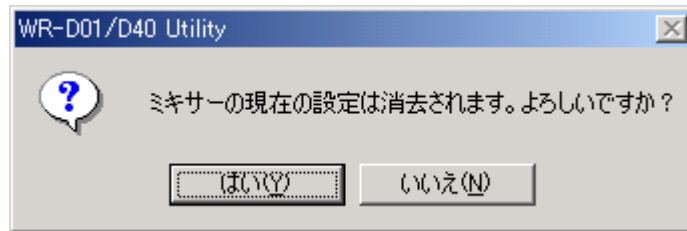
- ・ Pattern : パターンメモリのデータをリストアします。
- ・ DYN Library : DYN ライブラリのデータをリストアします。
- ・ EQ Library : EQ ライブラリのデータをリストアします。
- ・ カレント : カレントデータをリストアします。

上記すべてのデータを復元する場合は、「全て」をチェックしてください。

バックアップしたときに取得したデータのみチェック可能です。また、「全て」はすべてのデータが取得されている設定データの場合のみチェック可能です。

それぞれの設定データの内容については、「本ソフトウェアが提供する機能」を参照してください。

「データ送信」のボタンをクリックします。下図の確認ダイアログが表示されます。



ミキサーの現在の設定が消去されてもよければ「はい」をクリックします。設定データのミキサーへの送信が開始されます。

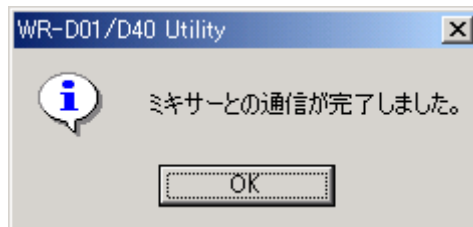
送信をやめる場合は「いいえ」をクリックしてください。

送信中は下図に示す2種類のプログレスバーが表示されます。



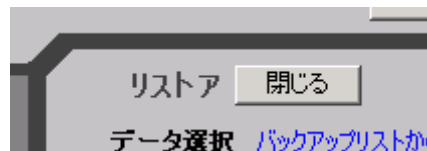
送信するデータによってはしばらく時間がかかります。送信が完了するまでおまちください。

通信が完了すると下図の確認ダイアログが表示されます。



「OK」をクリックしてください。

ウィンドウ右側のいちばん上にある「閉じる」をクリックします。



設定データの編集

バックアップ機能によりパソコンへ取り込んだパターンメモリーやライブラリの構成を組み換え、新しい組み合わせのパターンメモリーやライブラリを作成することができます。ミキサーから新たに取り込んだパターンメモリー・ライブラリも編集に使用することができます。

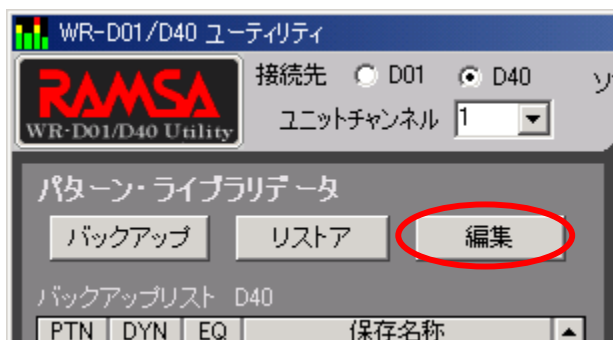
補足

- ・本ソフトウェアでは、各パターン/ライブラリに記録されている各設定の設定内容を変更すること（出力レベルを変更したり、EQの周波数特性を変えたりすること）はできません。
- ・組み換え操作は同一種類のパターンまたはライブラリ間でのみ可能です。モノラル入力用のEQとステレオ入力用のEQなど、種類の異なるパターン/ライブラリデータを組み合わせることはできません。
- ・カレントデータは編集できません。

設定データの編集方法は以下の通りです。

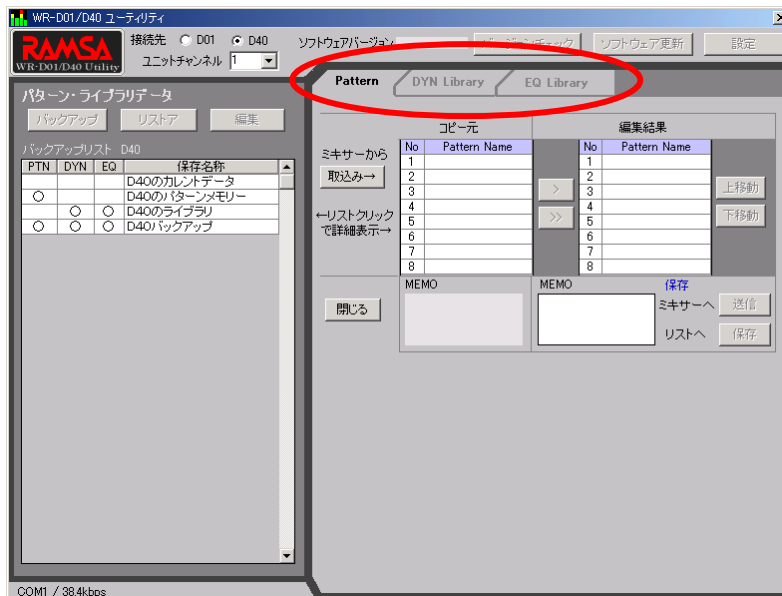
他の画面がウィンドウ右側に表示された状態では下記の操作は行えません。画面を閉じてから操作を行ってください。

ウィンドウ左上、「パターン・ライブラリデータ」の「編集」をクリックします。



ウィンドウ右側に編集画面が表示されます。

編集するデータの種別を選び、対応するタブをクリックします。

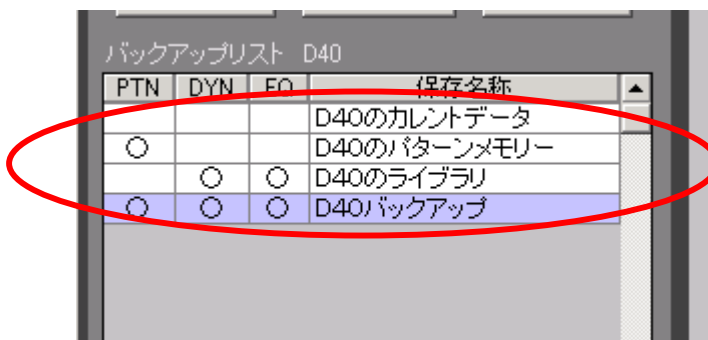


編集対象となるデータの編集ページが表示されます。

タブはデータ編集の途中でも切り換えられますが、切り換え前のページの編集内容は保存されません。保存が必要な場合は、タブ切り換えの前に保存操作（後述）を行ってください。

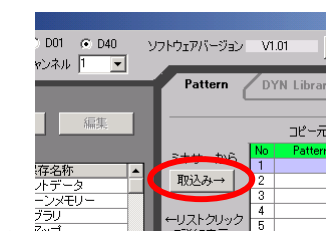
編集のベースとなる設定データを「コピー元」欄に呼び出します。

- ・パソコンに保存されたバックアップリストから呼び出す場合は、左側のバックアップリストから設定データを選択し、クリックします。



設定データ内に編集対象のデータが含まれていないと呼び出しは行われません。編集対象のデータの欄に「」の付いている設定データを選択してください。

- ・ミキサーの現在の設定を「コピー元」欄に呼び出すこともできます。この場合は「取り込み」をクリックしてください。



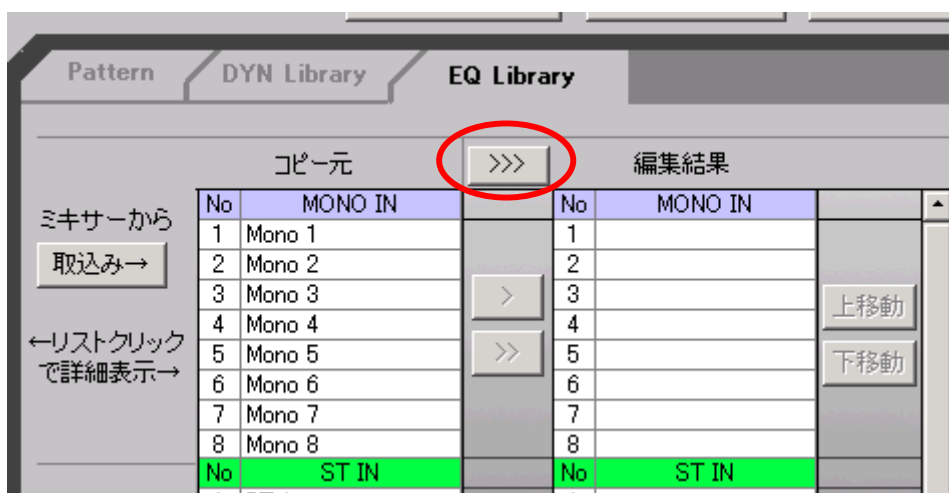
ミキサーとの通信中はプログレスバーが表示されます。

取り込み内容によってはしばらく時間がかかります。完了までしばらくお待ちください。

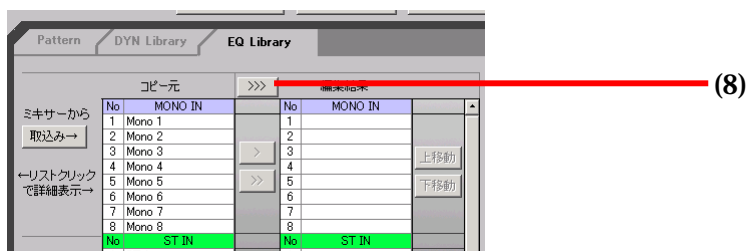
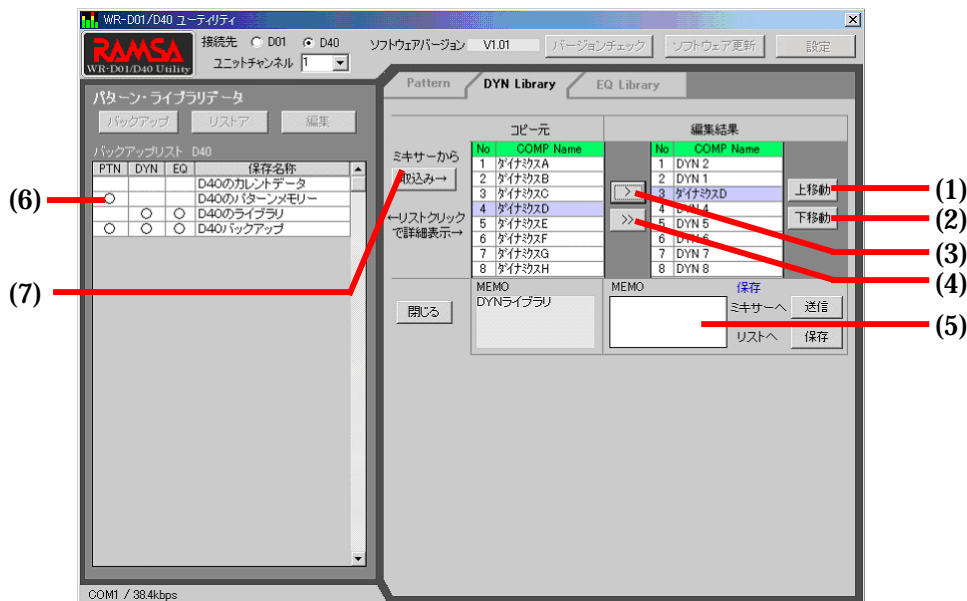
「コピー元」欄の内容を「編集結果」欄にコピーします。「>>」(全コピーボタン)をクリックしてください。



EQライブラリの編集の場合は、いちばん上にある「>>>」(EQライブラリ全コピーボタン)をクリックしてください。4種類のEQライブラリすべての「コピー元」欄の内容が、一度に「編集結果」欄にコピーされます。



「編集結果」欄の内容を組み換え、必要に応じてメモを入力します。



(EQ Library の場合)

以下の編集操作が可能です。

項目を選択するには「コピー元」欄、「編集結果」欄の項目上でクリックしてください。その項目がうす青表示となり、選択されます。

(1)上移動ボタン：

「編集結果」欄で選択されている項目を1個上に移動します。いちばん上の項目が選択されている場合は、一番下に移動します。

(2)下移動ボタン：

「編集結果」欄で選択されている項目を1個下に移動します。いちばん下の項目が選択されている場合は、一番上に移動します。

(3)コピーボタン：

「コピー元」欄で選択されている項目を、「編集結果」欄の選択されている位置にコピー（上書き）します。

(4)全コピーボタン：

「コピー元」欄のすべての項目を、「編集結果」欄にコピー（上書き）します。

(5)メモ欄：

「コピー元」側にはバックアップや編集の際入力したメモの内容が表示されます（ミキサーから取り込んだ場合は、取り込む前のメモの内容が引き続き表示されます）。「編集結果」側には入力が可能で、リストへ保存したときのメモ内容を入力できます（256文字まで）。

(6)バックアップリスト：

「コピー元」欄の内容を別の設定データに切り換えるとき、その設定データをクリックします。

(7)取込みボタン：

「コピー元」欄にミキサーの現在の設定内容呼び出すときクリックします。

(8)EQライブラリ全コピーボタン（EQライブラリのみ）：

すべての種類のEQライブラリについて、「コピー元」欄のすべての項目が「編集結果」欄にコピー（上書き）されます。

補足

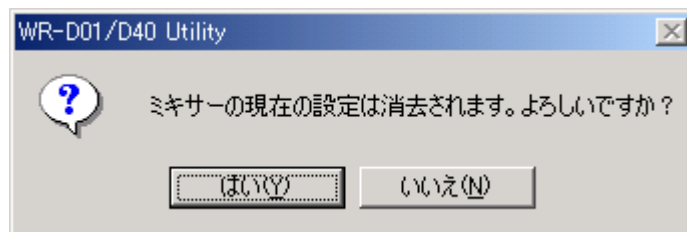
- ・(1)、(2)、(3)、(5)は編集結果欄に項目が表示されていない状態では不能表示となり、操作できません。 の全コピー操作を行うと操作できるようになります。
- ・パターンやライブラリの項目数を増やしたり、減らしたりすることはできません。必ず8個の項目が組になります。
- ・EQライブラリはMONO IN, ST IN, OUT3Band, OUT8Bandの各々について個別に組み換えを行います。画面上に表示されていない部分は右端のスクロールバーを操作して表示させることができます。ただし保存(送信)は全種類まとめて行われます。
- ・全角または半角のスペースをメモに入力した場合、先頭と末尾のスペースは削除されます(途中のスペースは保持されます)。

編集結果をパソコン（バックアップリスト）へ保存、またはミキサーへ送信します。



(1)送信ボタン：

「編集結果」欄の内容をミキサーへ送信します。クリックすると下図の確認ダイアログが表示されます。



ミキサーの現在の設定を消去しても良ければ「はい」をクリックします。送信が開始されます。「いいえ」をクリックすると送信は行われません。

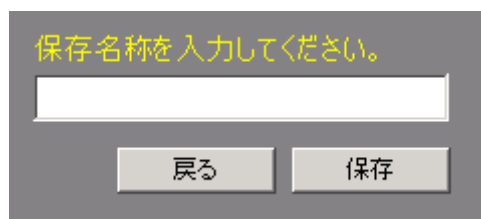
ミキサーとの通信中はプログレスバーが表示されます。

また、送信内容によってはしばらく時間がかかります。通信が完了するまでお待ちください。

通信が終了すると、終了確認のダイアログが表示されます。「OK」をクリックしてください。

(2)保存ボタン：

「編集結果」欄の内容をバックアップリストへ保存します。クリックすると下図の名称入力パネルが表示されます。



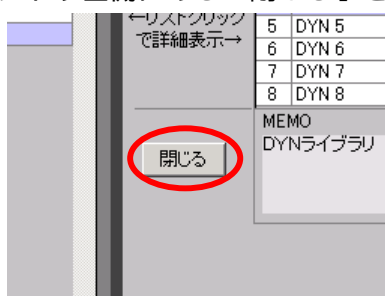
保存名称を入力し（30文字まで）、「保存」をクリックしてください。保存確認のダイアログが表示されますので「OK」をクリックすると、入力した保存名称の設定データがバックアップリストに追加されます。

「戻る」をクリックすると保存が行われません。

補足

- ・送信ボタン、保存ボタンは編集結果欄に項目が表示されていない状態では不能表示となり、操作できません。 の全コピー操作を行うと操作できるようになります。
- ・既にバックアップリストに存在する保存名称を入力すると、そのデータ種別のみを更新することができます。そのデータ種別が含まれない保存名称を指定した場合は、そのデータ種別が新規追加され、リストに「 」が表示されます。
- ・全角または半角のスペースを保存名称に入力した場合、先頭と末尾のスペースは削除されます（途中のスペースは保持されます）。

作業を終了する場合はウィンドウ左側にある「閉じる」をクリックします。



ミキサーソフトウェアのバージョンアップ

現在ミキサーで動作しているソフトウェアのバージョンを確認することができます。また、ミキサーのソフトウェアの新バージョンがリリースされた場合、本ソフトウェアを使用してバージョンアップを行うことができます。

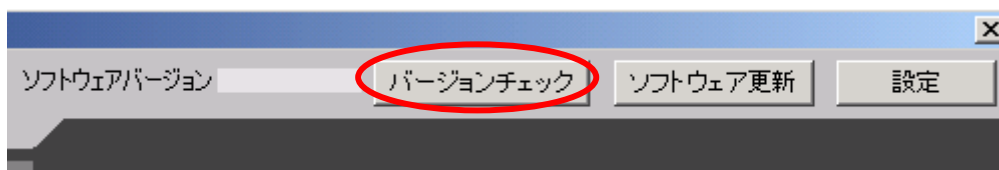
他の画面がウィンドウ右側に表示された状態では下記の操作は行えません。画面を閉じてから操作を行ってください。

バージョンアップ時、本ソフトウェアでは 57.6kbps の通信速度でミキサーと通信を行います。通信速度の変更はできません。

ミキサーソフトウェアのバージョン確認

現在ミキサーで動作しているソフトウェアのバージョンは、以下の操作で確認します。

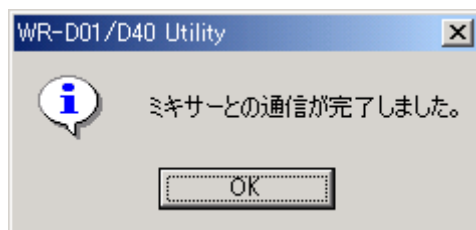
ウィンドウ右上の「バージョンチェック」をクリックします。



ミキサーとの通信が開始されます。通信中は下図のパネルが表示されます。

バージョンチェック中です。しばらくお待ちください。

通信が完了すると、下図の確認ダイアログが表示されます。



「OK」をクリックしてください。

「ソフトウェアバージョン」欄に、現在のミキサーソフトのバージョンが表示されます。



ミキサーのソフトウェアをバージョンアップする

ミキサーで動作しているソフトウェアのバージョンアップは、以下の手順で行います。事前に最新バージョンのソフトウェア(Sフォーマットファイル)を入手し、ユーティリティソフトが動作しているパソコンの適当なフォルダ上にコピーしてください。

補足

- ・ミキサーの最新ソフトウェアのバージョン、入手方法についてはミキサーの販売店へお問い合わせください。
- ・ミキサーのソフトウェアは、WR-D01 と WR-D40 とで共通です(2004年7月現在)。

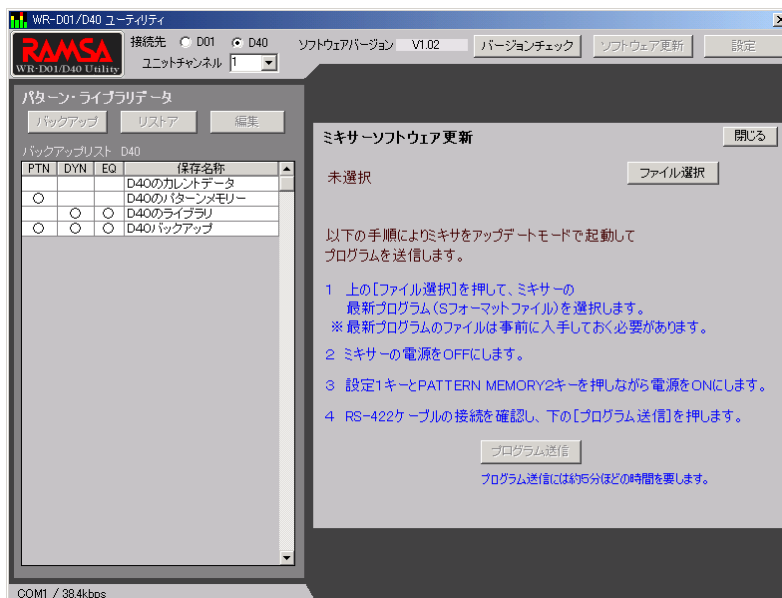
現在の設定データを復元できるように、本書「ミキサーの設定データをパソコンへ取り込む」を参照し、ミキサーのすべての設定データをバックアップしてください。

バージョンアップの操作を行うとミキサーは工場出荷状態に戻ります。以前の設定は全て消えますので、必ずバックアップを行ってください。

ウィンドウ右上の「ソフトウェア更新」をクリックします。

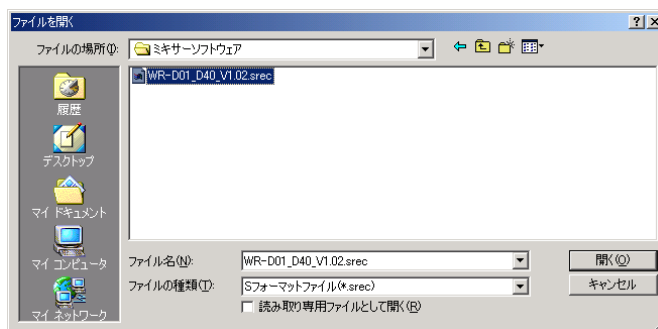


ミキサーソフトウェア更新の画面がウィンドウ右側に表示されます。



「ファイル選択」をクリックします。

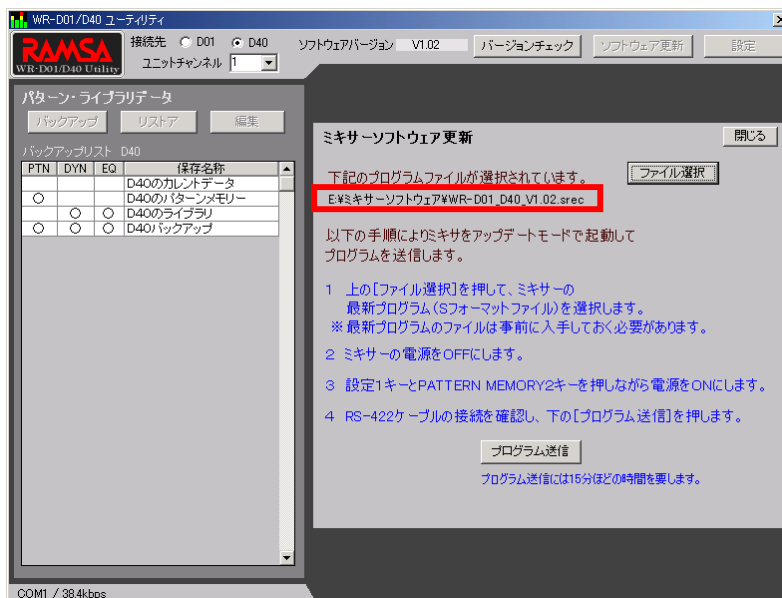
「ファイルを開く」のダイアログが表示されます。



ミキサーソフトウェアのファイル名はバージョンにより変わる可能性があります。

ミキサーの最新バージョンソフトウェアが入ったフォルダを開き、Sフォーマットファイルを選択して「開く」をクリックします。

選択したファイルの名称が表示されますので、確認してください。



ミキサーソフトウェアのファイル名はバージョンにより変わる可能性があります。

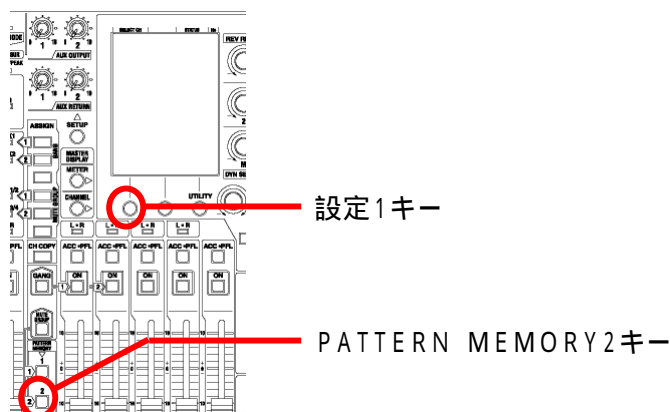
また画面の一番下に、プログラム送信に要する時間の見積もりが表示されますので参考にしてください。

送信時間はファイルのサイズから算出したもので、実際の送信時間と多少の誤差を生じる可能性があります。おおまかな目安としてお考えください。

ミキサーの電源をOFFにします。

複数台のミキサーが接続されている場合、すべてのミキサーの電源をOFFにしてください。

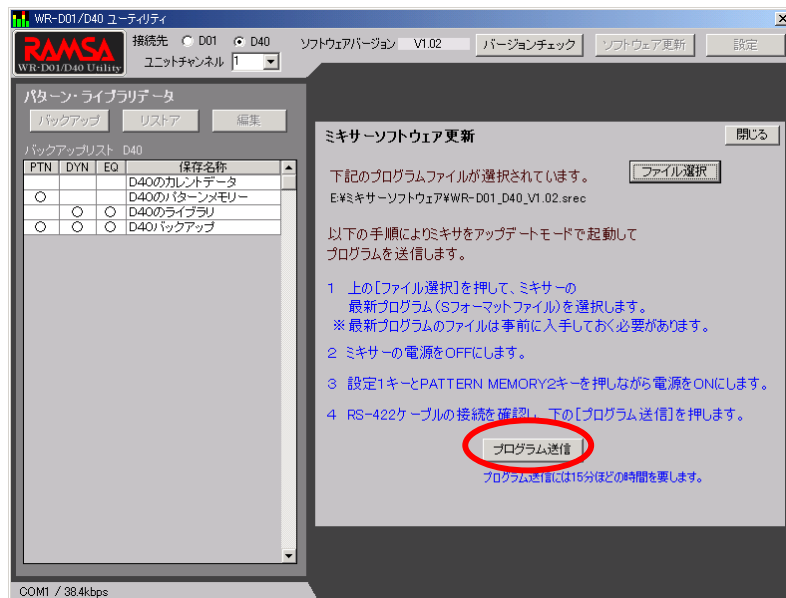
バージョンアップするミキサーの設定1キーとPATTERN MEMORY 2キーを同時に押し、押したままの状態でもキサーの電源をONにします。



重要

- ・複数のミキサーを同時にバージョンアップすることはできません(受信確認のため双方向通信を行っており、確認応答が同時に発生して通信に失敗する可能性があります)。
- ・複数のミキサーが接続されている場合、2台以上のミキサーの電源が入っていると予期せぬ通信が発生し、バージョンアップに失敗する可能性があります。必ず手順 ですべてのミキサーの電源を切り、バージョンアップ対象の1台のみ上記操作で電源をONしてください。

ケーブルの接続、終端スイッチの設定をもう一度確認し、「プログラム送信」をクリックします。



手順 で電源ONしたミキサーの終端スイッチを切り換える場合は、いったん電源をOFFにしてから切り換えてください。その後再度 の手順で電源をONします。

下図の送信確認ダイアログが表示されます。



送信してよい場合は「はい」をクリックします。ミキサープログラムの更新処理が開始されます。

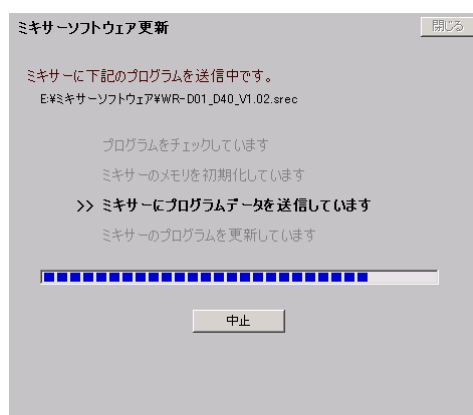
送信を中止する場合は「いいえ」をクリックしてください。

重要

ミキサープログラムの送信中は、**ケーブルの抜き差しや電源の入り切りを絶対にしないでください。**不完全な状態でプログラムが更新され、**ミキサーが起動しないなどの重大な支障を来す場合があります。**最悪の場合、**本手順でのソフトウェア更新も行えなくなります。**

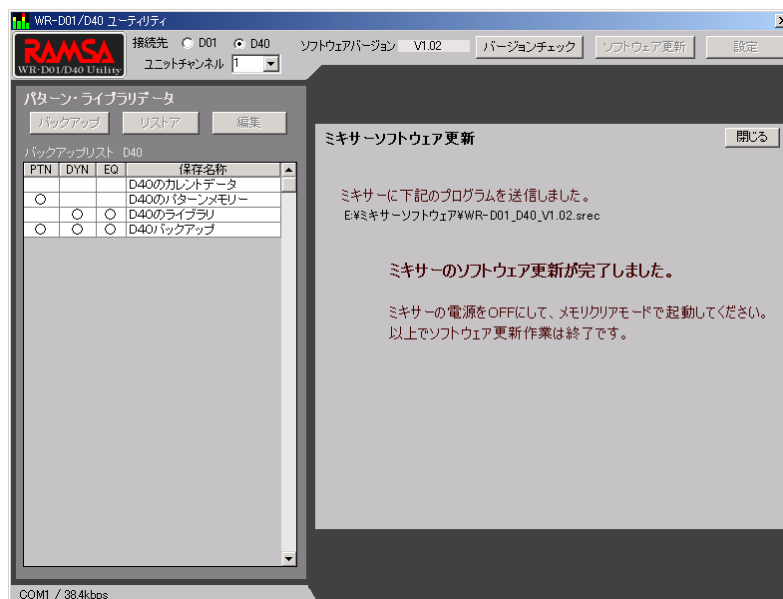
複数台のミキサーを接続している場合、バージョンアップの対象となっていない電源OFF状態のミキサーのケーブル抜き差しや電源入り切りも、通信回線に影響を与えます。絶対に行わないでください。

ソフトウェアの更新はいくつかのステップに分かれます。更新処理中は現在行われている処理とその進行状況が画面に表示されます。



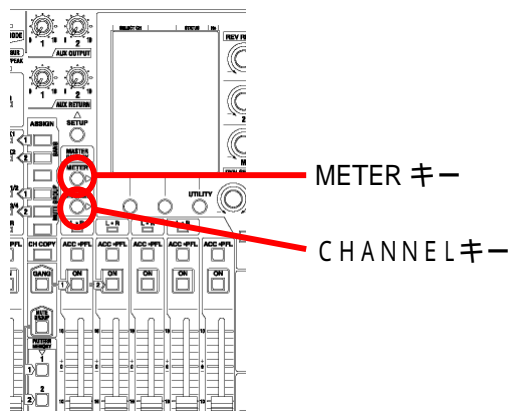
すべての処理が終了するまでしばらくお待ちください。

処理が完了すると、以下のように表示されます。



画面右上の「閉じる」をクリックしてください。

ミキサーを工場出荷状態に戻します。電源を切り、METER キーと CHANNEL キーを押し、押したままの状態再度電源をONにしてください。



少し待つと液晶にメモリークリアの確認パネルが表示されます。カーソルキーで「OK」を選択し、ENTER キーを押します。

システムが再起動します。液晶にオープニング画面が表示され、右下にバージョンが表示されますので、正しいバージョンに更新されたことを確認してください。



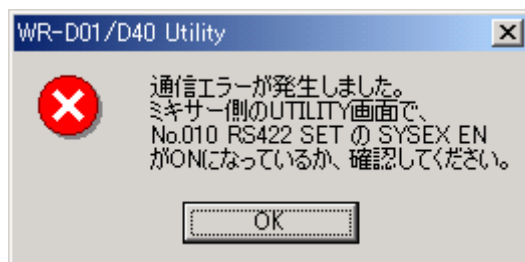
重要

工場出荷状態に戻さずに運用を再開すると、一部の機能が正常に動作しない場合があります（正常動作しない機能はバージョンアップの内容により変わります）。必ず上記手順でいったん工場出荷状態に戻してください。

本書「バックアップした設定データをミキサーへ復元する」を参照のうえ、手順 でバックアップした設定データをミキサーへ復元させてください。

通信エラーが発生したときは

本ソフトウェアがミキサーとの通信に失敗すると、下図のような通信エラーダイアログが表示されます。



ダイアログの形状やメッセージの内容は、症状や発生場面により異なる場合があります。

また通信エラーダイアログが表示されなくても、取得したデータが文字化けしていたり、内容が全く表示されない場合は、同様に通信に関する障害が予想されます。このような場合、以下の確認を行ってください。

A．システム接続関連

- ・ RS-422 通信用ケーブルは正しく接続されていますか？
- ・ ミキサーの終端スイッチは正しく設定されていますか？
- ・ クロスの RS-422 通信用ケーブルを使用していますか？ 規格、ピン配置は正しいですか？
本書「機器の接続」を参照してください。

B．ミキサー側

- ・ ミキサーの電源はONになっていますか？
- ・ UTILITY 画面の設定は正しいですか？
 - ・ No.010 RS-422 SET の SYSEX EN が ON になっていますか？
 - ・ No.009 CTRL CONF の RS422 が ON になっていますか？
 - ・ No.010 RS-422 SET の RATE が、パソコン側ユーティリティソフトの通信速度と同じに設定されていますか？
 - ・ No.010 RS-422 SET の CH TX と CH RX が同じ値で、かつパソコン側ユーティリティソフトのユニットチャンネルと同じに設定されていますか？
 - ・ No.010 RS-422 SET の P CHG TX、P CHG RX、C CHG TX、C CHG RX、RPN EN、

NRPN EN がすべて OFF に設定されていますか？

本書「動作環境の設定」を参照してください。

- ・ミキサーソフトウェアのバージョンアップの場合、正しい手順でミキサーの電源を入れ直していますか？

本書「ミキサーソフトウェアのバージョンアップ」を参照してください。

- ・ミキサーソフトウェアのプログラム送信後、所定の手順でミキサーを工場出荷状態に戻し、再起動していますか？

本書「ミキサーソフトウェアのバージョンアップ」を参照してください。

C . パソコン側

- ・接続先ミキサーは正しく選択されていますか？
- ・正しいCOMポート、通信速度が指定されていますか？

本書「動作環境の設定」を参照してください。

- ・正しいコネクタにRS - 422 通信用ケーブルが接続されていますか？
- ・RS - 422 のインターフェースカードは正しく装着され、正常に動作していますか？
- ・ご使用のインターフェースカードやパソコンで、38.4kbps および 57.6kbps の通信速度はサポートされていますか？
- ・所定のOS が搭載されたパソコンを使用していますか？
- ・本ユーティリティソフト以外に、シリアル通信を行うアプリケーションやデバイスドライバが動作していませんか？
- ・その他CPU、ディスク等に極端に負荷をかけるソフトウェア（ウイルス等を含む）が動作していませんか？

ご使用のパソコンやソフトウェアの説明書を参照の上、正しく設定を行ってください。また、ウイルス駆除ソフトを導入し、最新のウイルス定義ファイルでウイルススキャンを行ってください。

ウイルススキャン中はCPU やディスクに負荷がかかります。ウイルススキャン中に本ソフトウェアは使用しないでください。

松下電器産業株式会社

ブロードメディア本部

〒223-8639 横浜市港北区綱島東四丁目 3 番 1 号 電話 フリーダイヤル 0120-878-410

© 2004 Matsushita Electric Industrial Co., Ltd. All Rights Reserved.

D01D40UTY-006